Club information

第３号：２０２３．１０．４
発行元：公益財団法人宮崎県スポーツ協会

10月8日（日）から、いよいよ隣県鹿児島県で「燃ゆる感動かごしま特別国体」が開催されます。元々は、令和2年（2020年）に開催される予定であった第75回国民体育大会「燃ゆる感動かごしま国体」が、新型コロナウイルス感染症の影響により、令和5年の今年、特別国民体育大会として開催されることとなりました。開催決定に当たっては、日本スポーツ協会やスポーツ庁、また佐賀県や滋賀県などの後催県の多大な御理解・御協力をいただいて開催されることになったという経緯があります。

本県からも、本部役員・選手等総計523名の選手団が参加します。県民全体で本県選手団の活躍を期待しましょう。

令和5年度総合型地域スポーツクラブマネジメントセミナーが終了しました。

9月16日（土）、17日（日）の2日間にわたり、ひなた武道館にて標記のセミナーを開催しました。このセミナーは、「総合型地域スポーツクラブの創設やクラブの充実、発展、拡充を目指すために必要なマネジメント能力を有する人材の育成と資質の向上を図る」目的で、みやざき広域スポーツセンターと本会の主催で開催したものです。

今回は、既存のクラブ関係者、新設を検討している延岡のクラブ関係者の他、行政の方、スポーツ推進委員の方も参加され、6つの講義を受け、知見を深めています。ここでは講義の中で印象に残ったキーワードを紹介します。

講義1「総合型地域スポーツクラブとは」

びわこ学院大学講師　祐末ひとみ氏

- ○　カテゴリー間の隙間、競技間の隙間を埋めていくのが総合型地域スポーツクラブの役割。
- ○　クラブの立ち位置を正しく自己評価できる仕組みを持っておくことが大切。自己評価の基準は、ミッション・ビジョン・設立趣意書・定款の目的等である。
- ○　それぞれの地域で課題が違う。課題を解決するには、課題を分解し、「なぜ？」を自分たちで問いかけることが大切。

講義２・３「クラブマネジャーの役割・クラブの作り方」

NPO法人希楽々理事長　渡邊　優子氏

- ○　マネジャーの役割は、問題解決とコミュニケーションを図ること。
- ○　組織の新陳代謝を図ること。
- ○　参加者を参画させる３原則「関心を持つ。会員になる。スタッフ型会員になる。」
- ○　登録認証制度の効果は、クラブが活用することで得られる効果である。
- ○　クラブ運営のポイントは、「ひとと（財産）想いを（理念）を活かし共感を広げる」こと。そのためには「仕組み（組織体系・事業）」が必要。

【問い合わせ先】
公益財団法人宮崎県スポーツ協会
Miyazaki Prefectural Sports Association
E-mail:miyazakiken-sc2@japan-sports.or.jp（担当：和田）
TEL:0985-58-5633　　FAX:0985-58-5630

○　妄想すると成功に近づく。

○　運動しない人を参加させるには、敷居を下げることが大切。

講義５・６「クラブの運営Ⅰ・Ⅱ」

NPO法人A-lifeなんかん　GM山田　健次氏、事務局長　西田　由美氏

○　クラブ運営において、「なぜ」を追求しながらコミュニケーションを図っていく。

○　法人化することで信用度が高まり、小さな事業から取り組みやすくなる。

○　クラブの軸と町の課題がリンクしていくことが大切。

○　地域の巻き込み方が大事。

JSPOの取組紹介～『NO！スポハラ』

JSPOのHPには様々な取組が紹介されています。今回は、ここ数年問題化している「スポハラ」に対する取組の紹介です。すでにご存じのクラブも多いと思いますが、内容について再度確認してみましょう。【以下、JSPO　HPより】

『スポハラ（スポーツ・ハラスメント）』とは？

「スポハラ（スポーツ・ハラスメント）」とは、スポーツの現場において、「暴力」、「暴言」、「ハラスメント」、「差別」など”安全・安心にスポーツを楽しむことを害する行為”のことです。

指導者と指導を受ける者との関係のみならず、スポーツの現場における関係者の誰によっても、また誰に対してであっても、スポハラは起こりえます。

そこで、JSPOが取り組んでいるのが、「**みんなで『NO！スポハラ』と言おう。**」という活動です。

これは、「スポハラ」が起きないことを目指すだけでなく「誰もが安全・安心にスポーツを楽しめる社会を作る」ための活動です。そのために、スポーツに関わるみんなが、「スポハラ」は、あってはならないもの、ダメなもの「NO！スポハラ」という価値観をもてるようになることを目指しています。

根絶宣言から10年が経過した2023年度を「NO！スポハラ」活動を開始する年と位置付け、「スポハラ」について関心をもってもらう、知ってもらう、学んでもらう、そして、防止に向けた行動ができるようになってもらうために必要な情報発信やイベントを行っています。

スポーツ現場、部活動の中でいまだになくならないスポハラ。スポーツに関わるすべての人が、「みんなで『NO！スポハラ』」の意識をしっかりと自覚して、スポーツを笑顔で楽しめる環境をつくりましょう。

登録・認証システムの更新手続き

令和6年度に向けた登録・認証システムの更新手続きに係る資料提出ありがとうございます。今後は、JSPOでの審査を経て、各クラブに対して結果を通知します。通知をお待ちください。

現在、県内には32の総合型地域スポーツクラブがありますが、新たに設立を検討している団体が延岡市と新富町に合計3つあります。その中で、延岡市の1団体は9月に設立準備委員会総会を開催し、プレ事業も始めています。

今後、設立準備委員会やプレ事業を重ねながら、クラブ設立に向けた動きが本格化していくと思われます。

どの団体も、スポーツを核とした地域づくりや街おこしに前向きで、今後の取組が楽しみです。

総合型地域スポーツクラブ連絡協議会広報部の今年度の取組として、各登録クラブの活動を毎月紹介することになりました。県スポーツ協会HPに掲載していますので、活動の参考にしてみてはいかがでしょうか？

詳しくはこちらから　⇒　https://www.miyazakiken-taikyo.jp/sportsclub/#link07